

平成22年度 京都府公立学校教員採用選考試験

志 願 書 等 記 入 要 領

- 記入に際しては、黒又は青のペン（ボールペン可）を使用し、かい書でていねいに記入してください。（志願書に記載された内容をコンピュータに入力するため、記入方法に誤りがあった場合、志願者として登録されない場合がありますので、正確に記入してください。）
- ※印の欄以外は、必要な箇所にもれなく記入するか、該当事項を○で囲んでください。
- 欄外や用紙を継ぎ足しての記入、2枚以上にわたる記入等はしないでください。

1 選考区分

「一般選考（一般採用枠）」志願者〔実施要項1参照〕は、選考区分の「1. 一般選考（一般採用枠）」の「1」を○で囲むこと。

同様に、「一般選考（北部採用枠）」志願者は「2」を、「スペシャリスト特別選考」志願者は「3」を、「身体障害者特別選考」志願者は「4」を○で囲むこと。

2 志願種別（第1・2希望）及び実技教科

(1) 志願種別は、下記の記入方法によりそれぞれ3文字で記入すること。

(2) 小学校志願者（小学校を第2希望とする志願者を含む。）は、第2次試験で選択する実技教科等について、「音楽」又は「図工」（図画工作）のいずれか一方を○で囲むこと。

また、「器」「陸」「ボ」はそれぞれ体育実技の器械運動、陸上運動、ボール運動のことであり、3領域のうち選択する2領域に○印を記入すること。

なお、下記の記入方法で示している例は、音楽と図画工作のうち、音楽を選択し、体育実技については、器械運動、ボール運動を選択した場合のものである。

(3) 記入に不備がある場合は、受験できないことがある。

【記入方法】

校種等及び教科（科目）		第1希望（第2希望）			音楽 図工	器	陸	ボ
小 学 校		小	学	校	20 ○ 音楽 図工	22 ○	23	24 ○
中 学 校	国 語→	中	国	語				
	社 会→	中	社	会				
	数 学→	中	数	学				
	理 科→	中	理	科				
	音 楽→	中	音	楽				
	保 健 体 育→	中	保	健 体 育				
	技 術→	中	技	術				
	家 庭→	中	家	庭				
高 等 学 校	英 語→	中	英	語				
	国 語→	高	国	語				
	地 理 歴 史→	高	地	理 歴 史				
	数 学→	高	数	学				
	理 科→	高	理	科				
	保 健 体 育→	高	保	健 体 育				
	音 楽→	高	音	楽				
	英 語→	高	英	語				
特 別 支 援 学 校→	高	特	支 援 学 校					
養 護 教 諭→	養	護	教 諭					
栄 養 教 諭→	栄	養	教 諭					

※ 「養護教諭」は「養護学校教諭」を意味するものではないので注意すること。

※ 第2希望欄については、中学校志願者で小学校を、高等学校志願者で中学校の同一教科(科目)を、特別支援学校志願者で小学校を第2希望とする場合にのみ、志願種別記入方法により記入のこと。

3 氏 名

- (1) 氏名（漢字）は、かい書でていねいに記入し、姓と名に分けて記入すること。
- (2) 氏名（カタカナ）は、姓と名の間は1字分あけること。
- (3) 記入欄の左から記入すること。

例：北山 登→（漢 字）

北	山					登					
---	---	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--

（カタカナ）

キ	タ	ヤ	マ					ノ	ホ	ル					
---	---	---	---	--	--	--	--	---	---	---	--	--	--	--	--

※濁点、半濁点で1字分使用しないこと。

4 性別

該当する番号を○で囲むこと。

5 生年月日

例：昭和56年6月30日生まれ、平成22年4月1日現在満28歳の場合

生 年 月 日	元号	年	月	日	H22.4.1 現在の年齢			
	Ⓢ H	5	6	0	6	3	0	2

※ 一桁の数字には、前に0を付すこと。
例：6→06

6 現住所

例：〒602-8041 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町85番地 第三府営団地9棟305号

郵便番号	府県コード	市・区・郡・町・村名
602-8041	26	京都市上京区

字・町名、丁目、番地、号地	団地名、棟・室番号、様方等
下立売通新町西入藪ノ内町85	第三府営団地9-305

※○丁目△番地×号地の場合：○-△-×と記入して差し支えない。

7 電話

(1) 電話1には、現住所の電話番号を市外局番から記入すること。（携帯電話の電話番号でも可）

電 話 1	(市外局番) 局番 - 番号
	現住所の電話番号 (075) 414 - 5799

(2) 電話2には、現住所以外で確実に連絡の取れる電話番号を市外局番から記入すること。
(携帯電話の電話番号でも可)

電 話 2	(市外局番) 局番 - 番号
	現住所以外で確実に連絡の取れる電話番号 (090) 1234 - XXXX

8 最終学校

- 教員免許取得に必要な単位を取得するための科目等履修校ではなく、最終の卒業（修了）学校名又は卒業（修了）見込み学校名を記入すること。
- 学校コード、学部コード及び専攻コードは、コード番号表によりコード番号で記入すること。
- 学校名（漢字）については、次の例によりかい書で簡潔に記入すること。
例：北山教育大学 → 北山教育大 東山女子大学短期大学部 → 東山女子短大
- 学部名（漢字）については、○○学部と記入すること。

例：北山教育大学教育学部 平成15年3月卒業

最終学校	学校コード	学 校 名 (漢 字)					
	1 9 0 8	北	山	教	育	大	

学部コード	学 部 名 (漢 字)				専攻コード	卒業(見込)年月	元号	年	月
1	教	育	学	部	1	卒業(見込)年月	S Ⓜ	1	5 0 3

9 取得(見込)教員免許状等

所有する又は取得見込みの教員免許状(臨時免許状を除く。)のすべてについて次の例により記入すること。

ただし、6以上の教員免許状を有する又は取得見込みの場合は、志願する校種等及び教科(科目)の免許状を含め、5種類まで記入すること。

例：○校(職)種

小学校→小学 中学校→中学 高等学校→高校 特別支援学校→特支
盲学校→盲学 聾学校→聾学 養護学校→養学 幼稚園→幼稚
養護教諭→養教 栄養教諭→栄教 司書教諭→司書

○種 別

○教科(科目)・領域

1種→1 2種→2 専修→3
・漢字2文字の教科については、そのとおり記入すること。

国語→国語 英語→英語

・保健体育等の場合は次の例によること。

保健体育→保体

・特別支援学校免許については、教育の領域について記入すること。

視覚障害→視覚 聴覚障害→聴覚 知的障害→知的

肢体不自由→肢体 病弱→病弱

・小学校等教科(科目)・領域のない校(職)種については空白とすること。

○取得コードは、当該免許状の取得方法に応じてコード番号で記入すること。

○取得学校コードは、当該免許状取得に必要な単位を取得した最終学校をコード番号で記入すること。

例：中学校1種免許状(英語) 平成15年3月31日取得の場合

校(職)種	種別	教科(科目)領域	取得(見込)年月			取得	取得学校コード
			元号	年	月		
中 学	1	英 語	S Ⓜ	1 5	0 3	1	1 9 0 8

例：特別支援学校1種免許状(知的障害) 平成22年3月31日取得見込みの場合

校(職)種	種別	教科(科目)領域	取得(見込)年月			取得	取得学校コード
			元号	年	月		
特 支	1	知 的	S Ⓜ	2 2	0 3	3	3 9 9 9

10 教職経験の状況

国・公・私立学校の教職員(臨時的任用、非常勤を含む。)として勤務の経験(現在・過去)がある場合、新しいものから順に、当該年度欄に記入すること。同一年度に複数の職種・勤務校がある場合は、その年度の主な勤務校の分のみ記入すること。

例：18年度 正式採用の学校事務職員として大阪府立南高等学校勤務

19年度 無 職

20年度 非常勤講師として京都府立北山高等学校勤務

21年度 常勤講師として山城教育局管内の宇治市立東川中学校勤務

} の場合

教職経験の状況	年 度	職 種 コード	勤務地 コード	当該年度の主な勤務先名称			
	21	2 1	1 3	東	川	中	
	20	2 1	0 1	北	山	高	
	19 ～	0 3	4 1	南	高		

←学校名を記入する場合〇〇〇立は、省略すること。

また、小学校は小、中学校は中というように校種も略して記入すること。

←19年度以前で直近の主な勤務校を記入すること。

11 現 職

出願時点の職業について、コード番号により記入すること。

なお、在学中の学生の場合及び職種・勤務地に該当種別がない場合は、「その他」としてコード番号「99」を記入すること。

例の1：常勤講師として、山城教育局管内公立中学校に勤務している場合

2	1	1	3
---	---	---	---

常勤講師→21 山城教育局管内公立中学校→13

例の2：アルバイトとして、民間会社に勤務している場合

9	9	9	9
---	---	---	---

アルバイト→99 民間会社→99

12 一部試験免除〔実施要項2(1)ウ参照〕

第1次試験の一部免除を申請する場合は、該当するいずれか1つの番号を○で囲むこと。

「1」他府県等の正規の現職教員

「2」平成21年度京都府公立学校教員採用選考試験の第1次試験合格者

「3」中学校又は高等学校の外国語（英語）の志願者で一部試験免除を申請する方

「4」講師経験者で一部試験免除を申請する方

13 英語免除に必要な資格

中学校又は高等学校の外国語（英語）の志願者で、実施要項2(1)ウに定める一部試験免除を申請する方は、所有する資格等の名称、級・得点等及び取得年月を記入すること。

14 身体的な事情により試験に際して配慮を要する内容

例えば、点字や拡大文字による受験を希望するような場合等に、具体的に記入すること。

15 選考区分・免除 〈整理カード〉

選考区分欄については、いずれかの区分に○印を記入すること。免除欄については、第1次試験の一部免除を申請する場合のみ該当するいずれかの欄に○印を記入すること。

16 写 真 〈整理カード〉

写真の裏面に志願種別、氏名を記入し、整理カードの所定の位置の全面に貼ること。

17 受 験 票 〈郵便はがき〉

受験票は、7月上旬の発送を予定している。

なお、7月13日（月）までに到着しない場合は、京都府教育庁管理部教職員課人事担当あて照会すること。

18 そ の 他

試験内容についての問合せには一切応じない。

プレゼンテーションシート記入要領

- このプレゼンテーションシートは、面接試験の際に面接参考資料として使用します。
- 教員を志望するに当たって自己アピールしたいことを記入してください。
なお、プレゼンテーションシート以外の自己アピール資料は無効とします。
- 「学歴」欄以下の各項目は任意記入とします。ただし、講師経験者で第1次試験の一部試験免除を申請する場合は、該当する講師歴を「職歴」欄に必ず記入してください。
- 記入に際しては、次の要領で黒又は青のペン（ボールペン可）を使用し、志願書と合わせて提出してください。

1 写 真

写真の裏面に志願種別、氏名を記入し、所定の位置の全面に貼ること。

2 学 歴

小学校以降の学歴（通信制教育、予備校、専門学校等も含む。）をすべて記入し、学校名の前に国立大学法人、都道府県（都道府県名）立、市町村（市町村名）立、私立を明記すること。

最終学校卒業後に科目等履修の期間がある場合は、「最終学校卒業後、教員免許取得に必要な単位を取得するための科目等履修がある場合は、その学校名等」欄に記入すること。

3 職 歴

新しいものから就職年次順に、勤務先を記入すること。

4 卒業論文・卒業研究・卒業制作等の題目（テーマ）

卒業論文・卒業研究・卒業制作等の題目（テーマ）を記入すること。なお、未定の場合は、予定の題目でよい。

5 部活動等の活動歴

校内・校外別及び学内・学外別に入退部の年月日、役職名、主な活動実績（大会出場歴、入賞歴、段位、発表会等）を記入すること。

6 「特技や資格等」

所有する教員免許状以外の公的資格について、その名称（級・得点等も明記して具体的に）、取得（見込み）年月日を記入すること。

公的資格の例：英検、TOEFL、TOEIC、ソフトウェア開発技術者、簿記検定、看護師、
栄養士、社会教育主事 等

また、その他の自分が持っている特技についても具体的に記入すること。

7 「教員養成サポートセミナー、ボランティア活動等の実績」

今までに経験のある教員養成サポートセミナー及びボランティア活動等について、従事期間や団体内での役割等も含めて、その活動内容がわかるように具体的に記入すること。

8 「海外留学・国際交流の経験」

名称、期間、国名等その活動内容がわかるように具体的に記入すること。

9 「あなたが目指す教員像」、「あなたが教員に向いていると思うところ」、「教員を目指すに当たって努力していること・努力しようとしていること」

教員を目指すに当たっての現在の自分の思いを自己アピールとして、それぞれの項目にしたがって記入すること。